

ワンウェイ（使い捨て）プラスチック削減キャンペーンについて

東京都廃棄物審議会中間答申

「プラスチックの持続可能な利用に向けた施策のあり方について」の内容（平成31年4月17日）

（プラスチックに関わる3つの課題）

CO2 実質ゼロ

CO2 実質ゼロを目指して、資源利用のあり方を見直していく必要

海洋プラスチック問題

海洋への流出をゼロにすることを
目指して、早期に対策を進める必要

荒川河口付近の
川岸の散乱ごみ →



中国の輸入規制後の不適正処理リスク

廃プラスチックの不適正処理防止
が緊急的な課題

処理業者のヤードに
滞留する廃プラ →



（長期的に目指す姿）

CO2 実質ゼロに向けて、長期的に
エネルギーや各種資源の利用の
あり方を大きく変革

プラスチックについても、化石燃料への依存度を低減させ、
省エネルギー・省資源に資する
「持続可能な、価値ある素材」に
転換

バイオマス素材に切り替える場合は、
バイオマスの再生速度の範囲内かつ
持続可能性に配慮



- ・ 新規資源投入量の最小化
- ・ リユース及び水平リサイクルの徹底
- ・ 環境中への排出はゼロ

（当面、実施すべき施策）

ワンウェイプラスチックの削減
レジ袋などワンウェイプラスチックの削減
に向けたキャンペーンの推進 等

再生プラスチック等の利用促進

循環的利用の推進及び高度化

散乱防止・清掃活動を通じた海
ごみ発生抑制

国際的な連携

東京 2020 大会を機とした取組

ワンウェイ（使い捨て）プラスチック削減キャンペーンについて

事業趣旨：

「使い捨て型ライフスタイル」の見直しに向けた普及啓発の一環として、大学と連携した施策を展開しています。

- «見込める効果»
- ・学生の環境意識向上
 - ・大学から排出される廃棄物の減量
 - ・大学の環境保全活動への貢献

施策内容（例）：実施時期は、2019年の秋（1ヶ月程度）を予定

【東京都】

- ・プラスチックを巡る問題を説明し、マイバッグ・マイボトル等の利用を促す各種広報ツールの作成（リーフレット等）
- ・各種SNSを活用した、キャンペーンの実施 等

【大学】

- ・都作成広報物の掲載・周知。学生向けにマイバッグ、マイボトル等の使用を呼びかけ
- ・学園祭等の行事の際に、リユースカップ等を活用
- ・大学内店舗へ、事業実施の周知・協力を依頼 等

【担当】

資源循環推進部計画課 向畑・大辻
TEL：03-5388-3577

* 5大学程度との連携を予定。ご協力いただける場合、6月14日（金曜日）までに担当まで御連絡ください。